

過去最高順位 10位で完走

省エネ走行に挑む

本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ2022 第41回全国大会が10月1日から2日まで、モビリティリゾートもてぎ(旧ツインリンクもてぎ・栃木県)のオーバルコースで開催された。本校からは細窪陽輝さん(3年)が運転する3年生課題研究車両



大会に出場して完走した車両と生徒たち

と遠藤巧真さん(2年)が運転するエコカー部車両の2台が出場し、課題研究車両が1台あたり988キロで過去最高順位の10位、部活車両が1台あたり694キロで18位であった。

栃木国体レスリング 4種目入賞

いよいよ今年度まで国体2022レスリング競技が10月2日から10月5日まで、FUKAI SQUARE GARDEN 足利(栃木県)で行われた。少年男子フリースタイル55kg級の榎本太さん(3年)が3位、少年男子グレコローマンスタイル71kg級の長谷川虎次郎さん(3年)が3位、80kg級の梶坂希聖さん(3年)が優勝、番瀬環さん(3年)が優勝、重調整ができたのが良かった。来年はもっと息を盲闘できるように頑張りたい。



「高校最後の大会は僕の出身である栃木国体でした。最後までいい是全国で優勝したいと思って臨んだ大会でしたが結果は3位。高校3年間、楽しかった。大学でも

選手のコメント

○榎本太さん

「今回の試合は減量がかなりキツかったが、しっかりと試合当日に合わせて体重調整ができたのが良かったです。来年はもっと息を盲闘できるように頑張りたい。」

○長谷川虎次郎さん

「高校最後の大会は僕の出身である栃木国体でした。最後までいい是全国で優勝したいと思って臨んだ大会でしたが結果は3位。高校3年間、楽しかった。大学でも

し、走りきることができたと仲間感謝した。遠藤さんは「部活中に大会の走行時間である40分間を学校で走った。全国大会はとても良い天気でした。途中でチーンが取れたが、落ち着いて直すことができた。ゴールすることができた」と振り返った。(飯嶋)

頭張りたい

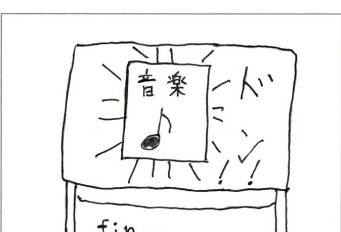
○島袋希聖さん

「決勝はロススコアになると思っていて、最初の1分間はすっと押されていたが、すきをつけて技を仕掛けられて結果的に10対0で終わりました。良かった。大学でもフリースタイルに限らず日本代表になれるよう頑張りたい。」

○甲斐武蔵さん

「国体で3位以内に入れたかったので悔しかったです。次のグレコローマンスタイルの試合では優勝したい。そのために筋トレを頑張りたい。」

発見!!



コロナ対策をした上で学校行事を実施

第2回華工活性化合同会議

第2回華工活性化合同会議が9月22日、本校の視聴覚室で行われた。会議には生徒会役員5人、PTA役員6人、野崎哲司校長先生をはじめとする教員6人の17人が「魅力ある学校づくり」や「これからの活動」について話し合った。「これからの活動」として、学園祭や甘利山強

Our teacher in 08編



今年、本校は創立60周年を迎える。それを記念して、第2弾として、本校卒業生の両宮大先生に、先生の高校時代の思い出について、聞いてみた。高校生の時の華工はどんな学校でしたか? 「ものすごく荒れている学校だった。ここでは言えないくらいに」

失敗を恐れず挑戦を

時の監督は非帯印象である。ものすごくサッカーに熱心な先生だった。サッカーのほかに空手部にも所属、極真空手を少しやってた。当時の学園祭はどのような感じでしたか。 「一番思い出に残っているのがクラス製。イカを作ったブルで競った」

— 当時の修学旅行は。 「北海道。カニや刺身を食べまくったことが一番思い出に残っている」

— 実習はどんなことをやっていたか。 「今の実習と大きく変わっていない。技術は基礎・基本の知識が重要なので逆に大きく変わってしまっている」

— 学校生活全般で思い出に残っていること。 「生徒の皆さんにはいろんな経験をしてもらいたい。葦崎工業ではいろんなお知らせ(資格やイベントの申し込み)が毎月のようにある。自分からアンテナを高く持っていて、積極的に参加してほしい。失敗を恐れず挑戦した先には必ず挑戦した人しか知らない感覚が身につくはず。自分の可能性を自分でつぶさないように。未来ある皆さんが少しでも成長できる葦崎工業を作っていきます」(清水美)

「残っていること。」「学食での壮絶なお弁当バトル(笑)。当時はお弁当の販売や学食があったのでお昼休みのお弁当争奪戦は思い出に残っている。あと、今と違って女子がほとんどいなかったため毎日が迫力ある運動会をお昼に繰り広げていた」

— 私たちに一言お願いします。 「生徒の皆さんにはいろんな経験をしてもらいたい。葦崎工業ではいろんなお知らせ(資格やイベントの申し込み)が毎月のようにある。自分からアンテナを高く持っていて、積極的に参加してほしい。失敗を恐れず挑戦した先には必ず挑戦した人しか知らない感覚が身につくはず。自分の可能性を自分でつぶさないように。未来ある皆さんが少しでも成長できる葦崎工業を作っていきます」(清水美)

両宮 大先生 (40歳) 工業科(情報技術科) 2000年度卒(平成12年度卒) 趣味はウェイクボード、スノーボード。好きな言葉はビル・ゲイツの「自分が出したアイデアを、少なくとも一度は人に笑われるようななければ、独創的な発想をしているとは言えない」。教師になったきっかけは、社会人になって人事担当をしている中で若い人がすぐに辞めてしまうことが多く、自分の経験を活かして会社に入ってもらおうと辞めない人材を育成したいと思ったから。

編集後記

員が行い、昨年と同様、少し距離を短くして行うことについて、総務主任の両宮大先生が説明した。PTAの向井幸男会長は「協力したい気持ちはあるが今は難しく、とても残念に思っている。すべての行事について、県の指示に従うのではなく、なるべく学校で工夫して、今までもおり行をなるべくにしてほしい」と語った。(清水美)

編集担当

- 取材は大変だったが、自分の書きたいことを伝えたいことを表現することができてよかった。
- 4コマを担当。自分が描きたいことを描くことができた。難しかったがやっていて楽しかった。
- 学園祭が終わったからの作業だったので、とても忙しかった。完成してよかった。
- 写真協力 写真部
- 記事担当 坂本優良、宮澤一貴、清水翔太、樋口揚一朗(3年)、山下花琳、阿部さくら、飯嶋香太郎(2年)、清水美佳(1年)
- 四コマ漫画担当 清田ユキオ(1年)
- パソコン担当 長田空(2年)